



元気で
す！

9月9日、大町市長らが市内の100才以上の長寿者6人を慰問しました。

敬老の日を前に、肩掛けなどの贈り物もらったおばあちゃんたちはうれしそう。市内最長寿者の山本兎茂喜さん(102才)は、聖書の一節を書いた短冊をお返しにプレゼントしました。

これからもみなさん元気で長生きしてください。

らぎのある町 づくりを

お年寄りに安らぎと生きがいのある町をつくらうということで、9月7日市社会福祉センターで、約200人が参加して社会福祉大会が開かれました。

これは、市社会福祉協議会(鈴江広幸会長)と市の主催によるもので、鈴江会長が「市民総ぐるみの福祉の町づくりを」とあいさつ。

この後、福祉功労者10人が市長、鈴江会長から表彰を受けました。また、32人に感謝状が贈られました。



晴れの日

苦楽を共にして50年。太平洋戦争さなかの昭和17年に挙式をあげ、激動の戦後を乗り越えてきた夫婦の金婚式が、9月1日、高知新聞などの主催で行なわれました。

南国会場の社会福祉センターには、南国市や香美郡から93組が参加。南国市の金婚夫婦22組も祝福を受けました。



社長さん頑張って！

企業トップから環境の美化を、ということとで八月二十六日、市内の建設会社の社長さんたち十五人が参加して、空港地下道、滑走路北側道路を清掃しました。

これは建設会社など十四社が参加して、今年六月に発足した「市環境建設協会」(島内幸一会長)によるもの。

「ゴミ、空き缶を拾うことをきっかけにし、我々が忘れがちな心を拾おう」を目標に毎月清掃活動を続けています。



まほろば祭り



八月二十九日、まほろば祭りが行われました。会場となった北部スポーツレクリエーション施設は、明るいうちからにぎわい約二万人が訪れました。

舞台ではバンド演奏や、ゲーム、はちきん大鼓などの出し物が披露されました。

なかでも夜空を行き交うレーザー光線をバックに中国の汪洪(ワンコウ)さん奏でる胡弓(コキウ)の幻想的な音色に、お客さんは聞き入っていました。

音と

光の



風と



祭りも大詰め、花火大会



夜店の前には…

楽しくプレーを

同和地区の住環境を整備している、野中小奥地区改良事業によりテニスコートが完成。地元の方たちに人気を呼んでいます。

透水性の全天候型コートが三面で、運動公園全体が未完成でもあり、とりあえずは無料で開放しています。

地区内外の交流を深めるため、多くの市民に使用してもらいたいとのこと。

申し込みは中央福祉館(☎089-2220)で受け付けています。



健康づくりの拠点施設

いよいよ着工



保健福祉センター起工式が、8月21日に大塚甲の建設予定地で行われました。

式典には大町市長ら、関係者約50人が出席。市長らがくわ入れなどをして工事の安全を祈願しました。

センターは延べ床面積1,584㎡の鉄筋コンクリート2階建て。1階にはリハビリ室や食生活改善室、2階には多目的ホール等の設置が予定されています。来年4月がオープン予定。